

# おれんじの屋根

施設長より

## 「自由の旅 その後」

今年度からスタートした、利用者さんが職員と2人で出かける「自由の旅」。入所の施設では、いつもは集団での生活なので、利用者さんが一人だけで動くことがなかなかできにくいのですが、この日は、利用者さんは、周りの人を気にせず、時間に追われることなく、自分のペースで行きたいところややってみみたいことができるということで、皆さん、とても楽しみにされています。

現在まで、3分の2の20人の利用者さんが出かけ、私も、予定の10人中、8人の利用者さんと出かけました。

お出かけで一番多いのは、やはりショッピングセンターでの買い物や食事でした。いろいろな店をゆっくり見て回り、好きなものを買ったり、食べたいものを食べたりする。こういう何気ない普通のことが、集団生活ではできにくいものだなとつくづく思います。私が一緒に出かけた中にも、パンツが好きで、パンツ売り場で50分じっくり品定めをして、気に入った高級パンツを買われた人もいました。

他には、ドライブと温泉が多かったようですが、それぞれの利用者さんの希望や大好きなことで、映画を楽しむ／空港で満足いくまで飛行機を見る／猫カフェでネコと遊ぶ／ふれあい動物園でハムスターやうさぎなどの小動物とふれあう／動物園や水族館見物をする

など、中には、カラオケ屋さんで職員と2人で5時間歌いまくったり、居酒屋でワインやビールを楽しんだりといったものもありました。

お出かけの後は、一緒に行った職員が、それぞれ画像をふんだんに入れたA3サイズの壁新聞をつくって廊下に張り出し、それを他の利用者さんや職員が楽しそうに眺めています。ホームページにも載せていますので、ぜひご覧ください。

早々に出かけたものの、他の人の壁新聞を見て、自分も行ってみたいとなり、早くも来年に思いを馳せている人もいます。「じゃあ、来年はそこに行こうね。」と私。生活の中で、楽しみを持つこと、楽しみに待つことも大切だと思っています。

入所の施設では、なかなか実現が難しい普通の生活ですが、この「自由の旅」がきっかけとなって、少しずつでも一部分でもいいので、他のことでも個人の生活や個人の活動がもっと実現されないだろうかと思っているところです。

さて、いよいよ、年の瀬となり、平成最後の年を迎えます。

この1年、ご家族・地域・関係者の皆さま方には、しょうぶの里及びグループホーム、熊本市手をつなぐ育成会にご支援を賜り、本当にありがとうございます。

来年が、いい年となりますよう祈念しています。

## 松本主任の 北米研修記

最終回の今回は、重度の障がいのある

今回は、重度の障がいのある方の在宅ケアをご紹介します。

Maddieさんは、中国から養子としてPATさんの家族に迎えられる。子供の時に、進行性の難病MLD(異染性白質ジストロフィー)と診断される。病気が徐々に進行していき、現在は、24時間人工呼吸器を装着。気管切開があり、糖尿病も患っている。開口や瞬きがあり。表情での意思表示あり。

ご自宅を訪問して驚いたことは、これほどの重度の障がいのある方でも自宅で普通に生活ができており、それを支えているPATさんも明るく温かい人柄で、家族愛の溢れる支援をしていたことだった。また、天井には、リフトが設置されており、吸引器や薬、医療処置に必要な物品に関してはリビングとベッドルームに常備され、Maddieさんのケア

を行うのに、2名の看護師が2交代制で24時間常駐して医療的ケアや生活介護(入浴・排泄交換・体位交換等)を行う環境が整っていたことだ。緊急性もあることから、日本では、医療機器や衛生面も整った病院に入院するという選択をすることが多いだろう。

しかし、PATさんは、家族との関わり・家族との時間や様々な経験を共にしたいという思いがあり、普通に地域で一緒に暮らし、買い物やネイルなどの楽しみが当たり前にあるべきだと、きれいにネイルが塗られたMaddieさんの爪を見せてくださった。その時のPATさんとMaddieさんの表情は、とても活き活きとしていた。

時には、地域に行事に参加され、maddieさんに惹きつけられるように人が集まり、共に触れ合い、楽しむことで、お互いの理解を深められていた。アメリカ社会での障がいについての理解の深さも感じられた。

私が視察したミネソタ州やシアトル(ワシントン州)では(注:アメリカは州によって教育制度が異なっている)、日本の特別支援学校のような枠組みはなく、障がいのある方も地域の学校に通っている。インクルージョン教育により、小さい時から障がいのある方との交流が普通にされており、お互い助け合いながら理解を深めていける環境は、とても素晴らしいと感じた。

先日、小島小学校との交流会を行った。最初、小学生の皆さんは、なんだか怖い、かわいそうという印象を持っていたが、一緒に絵を描いたり、ダンスを楽しむうちに自然と協力的で楽しそうに接するようになり、ネガティブなイメージはなくなっているようだった。

障がいのある人が地域で豊かに活き活きと暮らしていくためには、地域との交流を大切に、障がいに対する理解も深めなければならない、また、交流を深められるような場をもっと増やさなければならないと感じた。

今回、海外研修に行くことができ、海外の施設を視察し、とても刺激されました。今後のしょうぶの里での支援に必ず役立てたいと思います。 松本 大志

# ふかし芋大会

平成30年12月13日（木）、昨年に引き続き、ふかし芋大会を行いました。

かまどでお湯を沸かし、その上に大津のから芋をのせ、ふかしていただきました。とっても甘く、ほくほくで、ほんまもいけそうなくらいおいしか



## 給食室より

☆12月のイベントメニュー☆

- 12月 5日 誕生会ケーキ、コーヒー又は紅茶
- 12月 6日 ふかし芋大会
- 12月12日 リクエストメニュー  
焼きそばパン、ビーフシチュー



《ノロウイルスのご注意ください!》

秋から冬に流行するノロウイルスは、非常に強い感染力を持っています。

抵抗力の弱い人は重篤化しやすく、激しいおう吐や下痢の症状があらわれます。

手洗い、消毒（次亜塩素酸ナトリウム等）で対策しましょう



## 医務室より

### インフルエンザ 注意 ノロウイルス

早いもので今年もあっという間に過ぎようとしています。年末年始をご自宅で過ごされる方も多いと思います。この時期、気をつけたいのが感染症（インフルエンザや風邪）です。予防のために外出から帰られたら、手洗い、うがいをお願いします。

またノロウイルスに罹らないためには、二枚貝（カキ等）は十分に加熱して食べるようにしてください。

看護師 田中



## 福猪「1月の行事予定」

- ☆ 4日（金） 通所開始
- ☆ 7日（月） 職員会議、給食委員会（午後）
- ☆ 8日（火） 訪問歯科（午前）訪問リハビリ（午後）
- ☆ 9日（水） 誕生会（午後）
- ☆ 11日（金） 新年会、書初め（午後）
- ☆ 15日（火） 訪問歯科、吉村さんのお話会（午前）
- ☆ 18日（金） 防犯訓練（午後）
- ☆ 21日（月） 職員研修会（午後）
- ☆ 22日（火） 訪問歯科（午前）訪問リハビリ（午後）

## ～編集後記～

今年一年、「おれんじの屋根」をお読みいただきありがとうございました。

来年は平成から新しい年号に変わる特別な年です。

平成最後の行く年くる年を、元気で迎えたいと思います。

皆さま、良いお年をお迎えください。

## ～第20号～

平成30年12月25日発行  
発行元 しょうぶの里  
熊本市西区小島9丁目14-58  
Tel (096) 311-4588

2018

2019